



横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェブ

第202号



トピックス

新年度を迎えて

令和5年度にあたって

施設長 竹内 恵子

令和4年度中も、当施設の事業にご理解とご協力をたまわり心より感謝申し上げます。以下、令和4年度の実施状況、トピックスについてご報告します。

◆**通訳派遣・研修事業**:派遣・紹介人数は、手話通訳 11,354 人(令和3年度:10,318 人)、要約筆記 1,283 人(令和3年度:1,102 人)、総合計 12,637 人(令和3年度:11,420 人)となり、手話は前年比 110%、要約は 116%となりました。要約筆記については、イベント開催が増えたこともあり、件数が戻ってきています。区役所の窓口配置されている遠隔通訳の利用数は、計 147 件(令和3年度:84 件)と大幅に増加しました。令和2年度にシステムの入替えがあり、手話通訳だけでなく外国語通訳にも対応可能になったことや音声認識機能が付加されたことで、延べの利用数が伸び、区役所窓口の対応がスムーズになったことも増加の一因と思われます。

◆**通訳就業要綱の改訂**:横浜市及び事業団内で協議し、当事業団の「非常勤手話通訳者就業要綱」を改訂、非常勤手話通訳者の雇用条件を緩和し、前年度に一定数以上の稼働(概ね週1件)のあった手話通訳者は、特段の理由がない限り事業団と雇用契約を結べることにしました。改訂の背景としては、非常勤通訳者並みに頻度高く稼働している登録手話通訳者が多数存在していること、非常勤手話通訳者の人数が年々少なくなり、夜間等の救急派遣に対応する通訳者の確保が困難な状況になっていること等がありました。改訂の結果、非常勤手話通訳者は 76 人(令和3年度:21 人)となり、時間外救急派遣への申し出者も 49 人(令和3年度:29 人)となりました。

◆**養成事業への協力**:(一社)横浜市聴覚障害者協会(以下:横聴協)が実施する手話奉仕員及び手話通訳者養成事業、横浜市中途失聴・難聴者協会(以下:浜難聴)が実施する要約筆記者養成事業に協力しました。令和4年度登録試験の結果、手話 15 人、要約 7 人(手書き 2 人・パソコン 5 人)の方が合格されました。

◆**聴覚障害者相談事業**:感染防止に努めつつ、訪問による相談に取り組みました。令和4年から情提が事業の実施主体となった「聞こえの相談」については、延べ 61 件(令和3年:27 件)の相談に対応し、相談利用者同士の交流を目的とした「聞こえの相談・交流サロン」も開催しました。遠隔対応を含めた総相談対応件数は、1,607 件(令和3年度:1,441 件)となりました。

◆**普及・啓発事業**:出前講座については、介護保険事業所や民生委員児童委員協議会等に向けて周知をおこない、計 11 件のご依頼に対応しました。ラポール上大岡スポーツ事業課との共催「聴覚障害者対象健康学習会」についても、この3年間コロナに翻弄されてきましたが、令和4年度は予定した3回全てを開催することができました。その他、若年層の手話学習者増を目的とし、市内イベントでのブース出展、大学訪問等に取り組みました。公式 LINE アカウント「らぽらいん(ID:@695zoly)」では、毎週火曜に動画を含む各種情報を発信しています。登録がまだの方は是非ご登録ください。

令和5年度も、職員一同、関係団体の皆さまと力を合わせて、各種事業に取り組んでまいります。なにとぞよろしくお願いいたします。

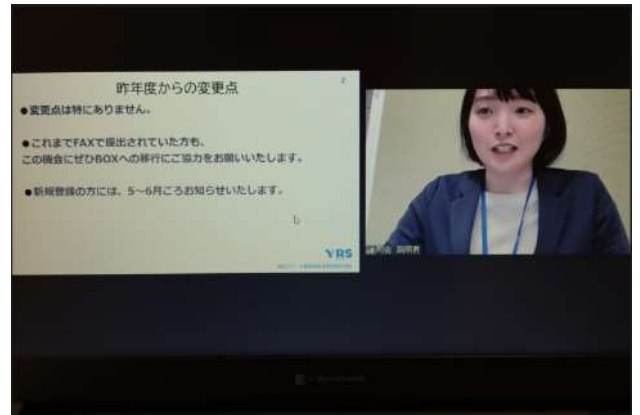
事業報告

令和5年度手話通訳者・要約筆記者 事業連絡会を開催しました

4月16日(日)の午後、標記連絡会をオンラインにより開催しました。出席者は186人(オンライン参加者183人、来所者3人)でした。この連絡会は手話通訳者・要約筆記者と情提職員が、新年度の組織(通訳者・情提職員)体制、派遣事業に関する状況、研修計画、通訳業務に関する留意点を確認する場として、年度当初に実施しています。

横聴協の木村好幸副理事長、浜難聴の須山優江会長のご挨拶後、施設長より派遣事業に関する令和4年度の国・神奈川県・横浜市の状況説明等を行いました。通訳業務に関する説明では、基本的な事項と特に留意してほしい点(変更・追加箇所)、また遠隔手話通訳等について話し、研修事業では1年間の研修計画について説明を行いました。

新年度の通訳者体制は、手話通訳者170人(非常勤76人、登録94人)、登録要約筆記者73人です。今年度も引き続き、事業の円滑な運営に努めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。



手話通訳者課題別研修 医療場面

3月8日(水)、「医療場面の派遣に向けて」のテーマで研修を行いました。平日の昼間で1時間半の研修でしたが、76人の参加がありました。デイサービスや訪問看護等対人場面での通訳について、医療場面をもとに通訳者として対象者にわかるように通訳するポイントについての講義でした。派遣場面をきちんと理解し、その内容に即した通訳者の役割について、現場で考えて行動することの大切さを学べるものでした。

出前講座を行いました

2月22日(水)は勝田茅ヶ崎東地区民生委員児童委員協議会さまにお声かけいただき、主に加齢性難聴や補聴器の基礎知識、聞こえにくい方への対応についてお話ししました。参加者は約25人。聞こえの低下と認知症との関係についての質問などが寄せられました。

3月9日(木)には、馬場地域ケアプラザにて、寺尾第二地区社会福祉協議会の皆さま約30人を対象に出前講座を行いました。自治会・町内会会長、民生委員・児童委員、婦人部、保健推進員と幅広い方々にご参加いただきました。

すでに聞こえない・聞こえにくい方の対応をしている方もいらっしゃる、特にコミュニケーションの方法やコツなど「地域の人ができることを中心に話してほしい」との要望に応じて、お話をさせていただきました。



映像制作事業

「目で聴くテレビ」で 自主制作番組が放送されました！

1月10日(火)より目で聴くテレビにて『ご当地検定後編』を放映中です。8月9日(火)に放映された内容の続編となります。

五十嵐由美子氏と情提職員が出演し、横浜市歌にまつわる話や横浜市発祥の演劇スタイル、2027年に開催される博覧会についてクイズ形式で紹介しています。今回は横浜ならではの文化を感じられる内容や、見どころを取り上げました。ぜひご覧ください。



連携事業

日本語字幕付演劇会開催しました

3月25日～26日に横浜ラポールシアターにて、横浜桜座本公演「横浜桜座版グレイテスト・笑マン!!」の舞台公演があり、延べ250人のお客様をお迎えいたしました。障害のあるメンバーが舞台に立ち、積み重ねた稽古の成果を存分に発揮されていました。

横浜ラポールでは、障害の有無に関わらず、誰もが楽しめる舞台づくりに取り組んでいます。今回も、聴覚に障害のある方も楽しめるように、字幕サークル「まじっく」が字幕制作と投影を担当し、舞台の下にスクリーンを設置し、演劇公演のセリフや音の情報を文字にして投影しました。お客様より「字幕がついて内容をより深めることができた」と感想をいただきました。また、視覚に障害のある方も楽しめるように、FMラジオを使って音声ガイドを流しました。次回の字幕付きイベントも、紙面等でお知らせしていきます。

参加報告

浜の会茶話会に参加しました

3月27日(月)、令和4年度最後の浜の会の茶話会(主催:神奈川県ろうヘルパー連絡会かもめの会「浜の会」、横聴協)が横浜市西区福祉保健活動拠点フクシアで行われ、当施設から職員2人が参加し、ゲームなど交流を深めました。(スタッフ含め参加者は14人)

ゲームは「私は誰でしょう?」というクイズで、2人1組で3つのヒントを出し、誰かを答えるというものです。参加者と一緒に頭をフル回転させました。例えば「①背が高くてカッコいい男性。②今はアメリカにいます。③二刀流。私は誰でしょう?」という感じです。(答えは文章の最後)

クイズ問題を考えるのは難しかったのですが、ペアで組んだ方と悩みながらいろいろ出し合うことができ楽しかったです。

情報提供以外にも、参加者と交流をしたりコミュニケーションをしたりするのも大切なことと考えています。今後も継続して参加していきたいと思っております。 【クイズの答え:メジャーリーガー 大谷翔平 選手】

～職員の異動がありました～

- | | | | |
|-------|--------|-------|------------------|
| 【退職者】 | 3月31日付 | 直井 彩香 | (聴覚障害支援員・派遣事業担当) |
| 【新採用】 | 4月1日付 | 平井 正子 | (非常勤・派遣事業担当) |



(令和4年度)

■通訳者の派遣・紹介人数

■聴覚障害者の相談

内容	手話通訳	要約筆記	合計	R3年度	相談事業	実件数	延べ件数
医療・保健	5,422	83	5,505	5,953	医療	179	300
司法	36	8	44	56	職業	53	113
教育・保育	795	24	819	510	教育	2	4
労働・雇用	551	24	575	556	住宅	30	82
社会生活	1,093	29	1,122	1,520	生活	322	541
自己啓発	217	24	241	121	福祉	270	457
福祉推進	1,279	1,085	2,364	1,755	法律	18	49
介護保険	1,926	1	1,927	884	聞こえ	57	61
他都市	35	5	40	65	合計	931	1,607
合計	11,354	1,283	12,637	11,420	R3年度	733	1,446
R3年度	10,318	1,102	11,420				

■通訳者の現任研修

■映像・字幕制作 ()はR3年度

手話研修	回数	26(36)	参加人数	1,093(933)	自主制作作品数	66(74)
筆記研修	回数	29(29)	参加人数	596(579)		

■遠隔手話通訳事業

■普及・啓発事業

区	件数	区	件数	区	件数	派遣先	派遣件数	参加人数
鶴見	16	西	11	栄	39	国・県・市機関	0	0
神奈川	13	南	2	旭	1	介護関係団体	11	468
港北	1	港南	6	戸塚	7	教育機関	3	49
緑	2	金沢	2	瀬谷	1	企業等	2	49
都筑	12	磯子	1	泉	8	聴覚障害者団体	9	163
青葉	1	中	10	保土ヶ谷	11	その他	9	273
				市庁舎	3	合計	34	1,002
				合計	147		(21)	(334)
					(84)			

■視聴覚機器の貸出

物品名	保有数	貸出件数	物品名	保有数	貸出件数
スクリーン	6	50	OHC	5	86
ヒアリンググループ	2	1	ブルーレイディスクレコーダー	1	6
液晶プロジェクター	7	144	PC文字通訳用機器	4	223
テープレコーダー	1	23	PC文字通訳用機器個人用	2	28
ビデオカメラ	1	14	合計(R3年度)		575(515)



3月

- 1 港町診療所訪問
- 2 手話試験委員会(横聴協)
- 7 手話ブラッシュアップ研修振り返り(オンライン)
- 8~9 全聴情協理事会(大阪)
- 9 出前講座(寺尾第二地区社協)
- 9 要約筆記者養成説明選考会(浜難聴)
- 17 市内大学関係者来訪
- 18 通訳者説明会(非常勤関係:オンライン)

- 20 出前講座(明治学院大学・東京都)
- 20 手話モデル撮影
- 22 主管課定例会議(上大岡)
- 25~26 字幕付き演劇会
- 24 情提協議会第三ブロック所長会議
- 27 区役所配置説明会(オンライン)
- 27 視聴覚機器点検(健福センター分)
- 27 衛生委員会

4月

- 1 手話養成開講式(横聴協)
- 7 ラポール新採用職員研修
- 11 ラポール職員研修
- 16 新登録通訳者オリエンテーション
- 16 通訳者事業連絡会(ハイブリッド)
- 18 要約筆記者登録1年次研修(1/8)
- 19 消防局との協議
- 20 全聴情協理事会(オンライン)
- 24 衛生委員会
- 25 要約筆記者登録1年次研修(2/8)
- 27 主管課定例会議

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日:令和5年4月28日

発行者:(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL.045-475-2057 FAX.045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>